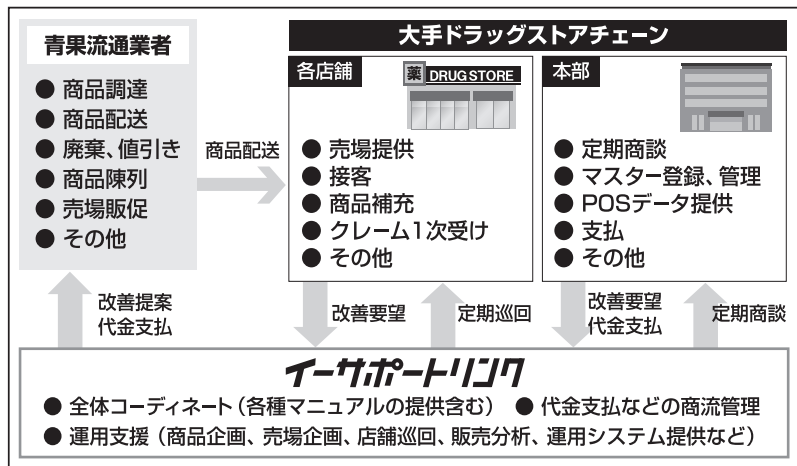


ドラッグストアの青果売場支援

イーサポートリンクによる「売場構築支援」のイメージ



イーサポートリンクでは、青果のサプライチェーンを一元管理する「イーサポートリンクシステム」や、受発注システム「生鮮MDシステム」などを展開。同社のシステムを利用して仕入れを行う店舗は約1万5000店にのぼる。

売場構築支援を手掛けるようになったのは2017年から。元々は、青果を扱うドラッグストア（DS）チェーンに対して生鮮MDを提案したところ、「青果売場運営のノウハウが不足している状況で、当社が管理を行うことになった」（深津弘行

常務）という。まずは埼玉県内の2店舗で仕入れや売場づくりを行ってきたが、「スムーズな商品調達や相場勘などが不可欠」と、仕入れだった藤生に運営を委託した。

青果コーナーは、店舗の一角を借りてラックや冷蔵ケースで展開。現在は2チェーン合計約50店舗で展開し、6社の流通業者がエリアごとに担当する。

それぞれの役割は、イーサポートリンクは全体のコーディネートをはじめ、販売分析、店舗巡回等の運用支援、代金支払等の商流管理などを行う。

藤生では18年からDSの青果売場の運営に着手し、6便が稼働する。当初は拠点群馬県前橋市場に隣接する前橋営業所のみとしていたが、この4月からは東京・豊洲市場内にも拠点を置いた。群馬県、埼玉県、神奈川県、千葉県、東京都、神奈川県へは主に豊洲から品揃えは、同社の商品担当者が前週に決定。ただ地域特性があり、「群馬の場合、競合店と比べて値頃感を打出すため、当日に市場で拾い買いも行う」といったスロット仕入れも行う。

この事業のメリットについて藤生社長は、「価格を自社で決めることができる」「物流を自社で組立てることができる」点を挙げる。物流では今後、同社の業務用納品も組入れて効率化を図る考えだ。このビジネスで収益を上げるには「1台の便での納品先を増やすこと」が鍵となる。そのため、イーサポートリンクでは、DSチェーンへさらなる青果コーナーの展開を提案。このほか、DS以外の他業態・他業種における展開も視野にある。こうした場合も含め、22年には230店舗への拡大をめざす。

事業拡大に向けては連携するパートナーが必要。このビジネスは、車と商品、バーコードラベル、人員を揃えればスタートできる（戦略事業部事業開発部青果開発課の山崎信一郎課長）といい、青果流通業者の参画に期待する。

イーサポートリンク

仲卸等と連携

価格は自社に決定権

青果の販路開拓は流通業者の大きな課題のひとつだ。さらに、その価格決定権が自社にあれば。生鮮流通に特化したシステムと、業務委託サービスを提供するイーサポートリンク（堀内信介社長、東京都豊島区）では、卸売市場の青果仲卸など青果流通業者6社と連携し、小売店などに青果コーナーを設置・運営する「売場構築支援」を行っている。現在は、ドラッグストアが顧客となる。流通業者は、イーサポートリンクが強みとするビッグデータを基にした売場情報などを参考に商品調達し、自社で価格を決めて店舗に配送、陳列する。このビジネスに群馬県の青果・総合食品卸の藤生（藤生浩道社長、伊勢崎市）も参画。藤生では新たな事業の柱として、事業拡大を図る考えだ。

う。一方、流通業者は商品調達、小分け・包装、配送、廃棄・値引き、陳列など。

流通業者が事業に取組むに当たり、イーサポートリンクでは売場メンテナンスの手順や、売場情報などのマニュアル、専用のスマートフォンアプリを提供。アプリは納品廃棄の管理、棚卸、納品するドライバーの作業管理などの機能を備える。また、DSの店員が閉店前の青果コーナーを撮影し、アプリにアップロードできる機能もあり、すべての業者がこれを翌日の品揃えの参考にしている。

各店の品揃えは30〜40品目で、日販が5万円を超える店舗もある。1商品の売上げごとに一定率をイーサポートリンクに支払う仕組みだ。

現在4県・24店舗を担当し、6便が稼働する。当初は拠点を群馬県前橋市場に隣接する前橋営業所のみとしていたが、この4月からは東京・豊洲市場内にも拠点を置いた。群馬県、埼玉県、神奈川県、千葉県、東京都、神奈川県へは主に豊洲から品揃えは、同社の商品担当者が前週に決定。ただ地域特性があり、「群馬の場合、競合店と比べて値頃感を打出すため、当日に市場で拾い買いも行う」といったスロット仕入れも行う。

この事業のメリットについて藤生社長は、「価格を自社で決めることができる」「物流を自社で組立てることができる」点を挙げる。物流では今後、同社の業務用納品も組入れて効率化を図る考えだ。このビジネスで収益を上げるには「1台の便での納品先を増やすこと」が鍵となる。そのため、イーサポートリンクでは、DSチェーンへさらなる青果コーナーの展開を提案。このほか、DS以外の他業態・他業種における展開も視野にある。こうした場合も含め、22年には230店舗への拡大をめざす。